

発寒中学校の皆さん、6月15日に向けてテスト勉強は進んでいますか？

ために裏面の問題、解いてみてください。
3月まで現役の数学教師だった私が去年、
実際に出題した1年生の定期テストです。

学年平均
65点

解答をもらうだけでもぜひ！ 一度、教室を覗きに来てください。
2・3年生の数学の予想問題もあります。 お問い合わせ TEL 624-5908

英語・数学専門、個人指導の学習塾 マドル・ガーダ

madruGada

発寒6条5丁目3-43 コージーホームズ65 3階

お問い合わせは (011) 624-5908

営業時間外は教室長携帯へ 080-1876-9081



WEB <http://madrugada.jp>
E-mail js@madrugada.jp

営業時間 (火～金) 午後2時30分～9時
(土曜日) 午前9時～午後7時
(日・月) 休み



教室長 鈴木 純一
(北海道大学教育学部卒)
東大合格者指導経験あり

当教室なら、入会1か月で英語・数学20点アップ。
自信があります。どうやって20点アップさせるか？
右のQRコードを読み取るか、**マドル・ガーダ 発寒** で検索！



解答はすべて、解答题用紙の決まった場所に、ていねいに記入しなさい。

【知識・理解】 30点

1 次の問いに答えなさい。

- (1) 西へ3km進むことを「-3km」と表すとき、東へ5km進むことを、正負の符号を用いて表しなさい。
 (2) 下の数直線で、点Aに対応する数をいいなさい。



2 次の数について、下の問いに答えなさい。

- (1) 整数は何個ありますか。
 (2) 負の数で最も大きい数を答えなさい。
 (3) 絶対値が2番目に大きい数を答えなさい。

$-3.4, 0, +\frac{5}{4}, -5, -\frac{7}{2}, +2.3, 3$

3 次の各組の数の大きさを、不等号を用いて表しなさい。

- (1) $-2, -5$ (2) $-0.1, -0.09, -\frac{9}{10}$

4 次の式について、下の問いに答えなさい。

- (1) 加法だけの式に直しなさい。
 $(-3)+(+5)-(-2)-(+4)$
 (2) 項を並べた式に直しなさい。

5 次の式を、文字式の表し方の約束にしたがって書きなさい。

- (1) $x \times 4$ (2) $x \times (-1) + x \times y \times y$
 (3) $x \div 10$ (4) $a \div (-3) \div b \times c$

6 次の数量を、文字式の表し方の約束にしたがって書きなさい。

- (1) ノートが2冊ずつa人に分けるとb冊余るとき、はじめにあったノートの冊数
 (2) a kmの道のりを、2時間で歩いたときの時速

【技能】 35点

7 次の計算をしなさい。

- (1) $(+12)+(-9)$ (2) $(+5)-(+13)$
 (3) $-12-(+16)$ (4) $5-8-3$
 (5) $-\frac{2}{3}-(-\frac{1}{15})$ (6) $7.2-2.9-(-1.8)$
 (7) $(-1.5) \times (+0.6)$ (8) -5^3
 (9) $(-\frac{9}{4}) \div (-3)$ (10) $6 \times (-2) \div 3 \times (-2)$

8 次の計算をしなさい。

- (1) $-10+(-2) \times (-4)$ (2) $2 \times |-7-(12-9)|$
 (3) $2-(-5)^2+(-3)^3$ (4) $(-55) \times 25 + 47 \times 25$

(5) $64 \div (-2)^3 + (-3)^2 \times \frac{5}{6} \div (-\frac{1}{4})$

【見方・考え方】 35点

9 下の表は、札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、福岡の8都市における年間の降水日数を示したものである。

都市	札幌	仙台	東京	横浜	名古屋	大阪	広島	福岡
降水日数	138	101	99	102	104	100	96	116

- (1) 純一くんはある都市の降水日数を基準として、次のように表を作り直した。その都市を答えなさい。

都市	札幌	仙台	東京	横浜	名古屋	大阪	広島	福岡
基準との差	+38	+1	-1	+2	+4	0	-4	+16

 (2) 札幌の降水日数を基準とすると、東京の降水日数を、正負の符号を用いて表しなさい。
 (3) 8都市の降水日数の平均を求めなさい。

10 数直線上の原点に点Aがあり、さいころを投げて、偶数の目が出れば出た目の数だけ正の方向へ、奇数の目が出れば出た目の数だけ負の方向へ移動する。



- (1) 5の目が2回出たとき、点Aの位置を求めなさい。
 (2) 右下の表は、さいころを何回か投げたとき、出た目の数とその回数を示している。このときの点Aの位置を求めなさい。

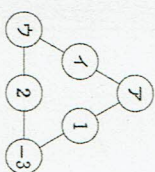
目の数	1	2	3	4	5	6
回数	4	1	2	2	3	2

(3) 下の表は、さいころを6回投げた出た目を記録したものである。6回投げ終えたとき、点Aは+1の位置にあった。5回目に出た目の数を求めなさい。

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
5	4	1	5		2

11 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の式のア、イに×、÷の記号を入れて、式を完成させなさい。
 $10 \square \text{ア} (-5) + 8 \square \text{イ} 2 = 14$
 (2) 下の図について、6つの○の中に-3から2までの6個の整数を1つずつ入れて、一直線上に並んだ3つの数の和が等しくなるようにしたい。ア〜エにあてはまる数を答えなさい。



- (3) 次の式のうち、計算の結果がつねに正の数となるものをすべて選び、記号で答えなさい。
 (ア) $(正の数) + (負の数)$ (イ) $(正の数) - (負の数)$
 (ウ) $(負の数) \times (正の数)$ (エ) $(負の数) \div (負の数)$
 (4) A, B, Cは、-5以上3以下のすべて異なる整数である。次の(ア)〜(エ)がすべて成り立つとき、
 A, B, Cの値を求めなさい。
 (ア) $A \times C$ は正の数 (イ) $A + B + C = 0$
 (ウ) $A - C$ は負の数 (エ) $A \times B \times C$ は正の数